

High school



伝統を受け継ぐ67人が入学

猪苗代高等学校(荒井一成校長)の入学式は4月8日、同校体育館で挙行政され、普通科37人、国際観光科30人が期待に胸を膨らませながら新たな学びの門をくぐりました。

式では、新入生一人一人の名前が呼ばれた後、全員の入学が許可されました。

荒井校長は「今回の震災で約3,500人の高校生が学校に帰れなくなっている。皆さんは大変な時期に入学したが、しっかりした心で学習に取り組んでほしい。先輩たちが築いてきた伝統と誇りを受け継ぎ『英知、忍耐、勤労』の素晴らしい校訓のもと、勉強と運動を頑張ってもらいたい。健康で爽やかな高校生活を送ることを祈る」と式辞を述べました。

その後、新入生を代表し二瓶大地さんが「震災に苦しむ人を勇気づけ、福島を明るくするために勉強に励む」と誓いの言葉を述べました。



写真上 晴れの日を迎えた67人の生徒たち。震災直後の大変な時期に入学しましたが、その目は復興後の明るい未来を見つめています
写真下 誓いの言葉を述べる新入生代表の二瓶大地さん

Elementary school



町内6小学校で入学式挙行政

町内6小学校の入学式は4月6日、各小学校で挙行政され、児童たちが憧れの小学校生活のスタートを切りました。長瀬小学校(江川浩校長)では、東日本大震災の影響で体育館が使用できないため、図工室での開催となりましたが、入学する16人は元気な笑顔で式に臨みました。

式では、江川校長が「小学校はとても楽しいところ。お兄さんやお姉さんと一緒に、楽しく過ごしてください。いつでもどこでもきちんと挨拶できる子ども、人の話をしっかりと聞ける子ども。一つしかない命を大切にする子ども。この三つを目標に頑張ってもらいたい」と式辞。在校生が「いっぱい一緒に遊んで楽しい学校生活を送ろう。分からないことがあったら何でも聞いて」と歓迎の言葉を述べ、拍手で新入生を祝福すると、1年生は恥ずかしそうな笑顔を浮かべていました。



写真上 在校生による歓迎の言葉。「楽しい学校生活を送ろう」と話し、校歌を歌って新入生を歓迎しました
写真下 入学児を代表して、佐藤真央さんに文房具が手渡された

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



新しいお友だちと遊びます

町内5幼稚園の入園式は4月8日、各園で挙行政され、呼名に応える園児たちの「はい」という元気な声が園内に響きました。

猪苗代幼稚園(本多勝男園長)には、うめ組とも組を合わせて36人が入園。本多園長の「幼稚園はとても楽しいところです。みんなと早く仲良くなって、いっぱい遊ぼう」との挨拶に、園児たちは笑顔でうなずきました。

千里幼稚園(鈴木勝義園長)では、うさぎ組、きりん組を合わせて28人が入園。鈴木園長は「早寝、早起き、朝ごはん。おはよう・ありがとうと挨拶のできる子。耳と目と心でお話を聞ける子」と、3つのめあてを発表。園児と保護者に協力をお願いしました。

各幼稚園では、子どもたちの健やかな成長のため、安心、安全な園づくりが進められます。



写真上 大きな声で「はい」と返事をする千里幼稚園の新入園児たち
写真下 在園児と父兄らが見守る中、一列になって会場に入る猪苗代幼稚園の新入園児たち



吾妻中学校で交通教室実施

吾妻中学校の交通教室は4月27日、同校周辺の通学路などで実施され、全校生徒73人が無事故の誓いを新たにしました。

全体会では、矢澤良伸校長の挨拶の後、猪苗代警察署吾妻駐在所の渡辺宏巡査部長が注意事項を説明。「車の運転手も常に集中している訳ではない。歩行者や自転車に乗った人も自分から車などに注意し、自分の命は自分で守るという気持ちを持たなければならない」と注意を呼び掛けました。

訓練では、自転車通学の生徒は自転車、徒歩・バス通学の生徒は歩きで通学路に出発。危険箇所などを再確認し、渡辺巡査部長の指導を受けました。

生徒を代表し、神末由華さん(3年)が「忙しい中指導していただき、ありがとうございます。これからも交通ルールを守り安全に登校します」とお礼の言葉を述べました。



写真上 生徒たちに「自分の命は自分で守る気持ち」と注意を呼び掛けた渡辺さん
写真下 自転車に乗り通学路に発する生徒たち。国道115号線の交差点など、危険箇所を指導を受けました

Kindergarten

Junior high school